

— ロマンと冒険の森 —

赤城コマランドの世界

— Vol.9 —

禁止無し。のびのび

冒険遊び場建設

生きてる森で遊ぶ

里山再生活動

悠久の時の流れに学ぶ

千年の思想



カブト虫の赤ちゃん…

いま、できること

私流社会貢献

自分で決めて、守る

自己責任力

自らの手で一歩ずつ

清貧&市民力





里山ぜんぶが冒険遊び場

長岡駅から東へ五キロ。遠く鋸山に連なる栖吉の里山は、田んぼと雑木林が複雑に入り組んで、昔ながらの懐かしい風景を随所に残しています。この谷あいの牧場にとり囲まれて、コマランドの森は ぽっかりと牧草地に浮かんでいます。

私たちはこの三万坪の里山で、六年前からロマンと冒険の森づくりをしています。赤城コマランドは、窮屈な現代社会の子ども達に贈る等身大の「冒険遊び場」です。この森の中で、危ない事や、秘密の事や、ちょっぴり悪い事も体験させて、子ども達をもっとのびのび育てようと、禁止事項の無い遊び場を作っています。

でも現代の里山は荒れ果てていて、人が立ち入る事も出来ません。そこでヤブを払い、枯れ木を倒し、間伐と植林を行って「里山の再生」も進めています。みんなで楽しく遊んでいたらいつの間にか人も森も大きく育っていたという気楽な活動をしています。



アプローチ

こうしてコマランドは生まれた

私たちの地区は駅の東側に広がる古くからの住宅街です。学級崩壊が社会問題化した十年前、公民館を中心に地元のほとんどの団体が集まって「教育環境づくりを考える会」が設立されました。その中の学校教育部会が、隣の栖吉地区に1ヘクタール（三千坪）の山林を借りて冒険遊び場づくりを始めたのです。

地区の鎮守さまと、土地を提供した駒村さんの名前をもじって『赤城コマランド』と名付けたこの場所で“子ども達をもっと自由に遊ばせよう”と、地域あげでの活動がスタートしました。



ツリーハウス

しかし現代の山林の荒廃は凄まじく、里山の再生も同時に進めざるを得ませんでした。その後、六千本あまりの植林と保育を行い、ツリーハウス・石釜・ログハウス・車椅子用トイレ・ピオトープなどを完成させ、子ども達と遊具を手作りし、今なおバリアフリーロード・トレッキングコースなどを建設中です。

この間しだいに参加者が増えて手狭になった為、隣接する五軒の地主さんと長岡市に依頼して、9ヘクタール（二万七千坪）の山林を借りて活動エリアを十倍に拡大しました。

現在、コマランドは誰でも自由に使える冒険遊び場として、家族連れ・子供会・町内会・ボーイスカウト・自然観察会・健康ウォーキング・若者達の音楽活動などにフル活用されています。さらに近隣小中学校の総合学習や、少年矯正施設の野外訓練のフィールドとして、未来を担う子ども達の育成に役立っています。

森が教えてくれたこと

近年は“森で遊ぶために森を良くしよう”という肩ひじ張らぬ自然体が受けて、地区外の人々も大勢活動に参加してくれるようになりました。この森には、指示も義務も禁止もありません。あくまで自由な意志で訪れ、自ら考え、行動し、最後までその責任を果たすのが不文律です。

こうして森と遊んでいるうちに、私たちは子どもだけでなく、大人も少しずつ変わってゆく事に気付きました。太古から変わらぬ森の息吹に包まれて、人のあるべき姿や命題を誰もが千年単位の長いスケールで考えるようになってきたのです。

悠久の時を重ねる大自然の生命力に圧倒されながら、瞬くように短い人の生涯を「どう生きるべきか…」と思いを悩ませる力を、この森は持っています。植林という見返りのない作業を繰り返しながら、私たちは“求めるよりも与えることの素晴らしさ”を、この森で学びました。

今コマランドでは、自分に何ができるのかをテーマに、活動の輪を拡げています。この春の植樹会では七百名もの参加者が、未来の為に木を植えてくれました。四郎丸小学校の子ども達は“遊べる癒しの森”をめざし、小さな手で雑木林の整備を進めています。新潟少年学院の少年達は、トレッキングコースの坂道に長大な階段を建設中です。鼻にピアスをした若者達は、徹夜でコンサートステージを作り上げました。失われた赤道を切り開いて山古志までの登山道を復活させたのは、ここのお年寄り達です。

みんな、声高に要求するよりも黙って世間の役に立ってる方が、よほど面白くて満足できると知った人たちです。



石釜

コマランドのポリシー

赤城コマランドはいつでも誰でも無料で使えます。スタッフからも会費は貰いません。行政とは仲良くしますが頼りません。私たちは金銭万能の現代社会に抵抗して、お金で買えないモノをこの地に創り出そうとしています。

そうは云っても経費もかかるので、公募の助成制度に応募して資金調達をしています。作文をせず、ありのままに実状を書いて、認めて頂けたら助成して貰っています。お金の無いときは、ひたすら清貧を買きます。誰の指図も受けずに森の中で五感を研ぎ澄まし、心の声に耳を傾けて自分なりの生き方を探すのが、コマランドの正しい楽しみ方です。

私たちの組織は、とてもファジィです。四役の他に助っ人のマタギ衆が九十名、ここで



ログハウス

遊ぶコマランダーは二千名位います。自ら任命するマタギ衆は「来てくれれば感謝、来なくても誰も文句は言いません」をモットーに、気ままにやっています。休日には大抵何かしていますから、前から居たような顔をして混ざって頂ければ、貴方も今日から心ある仲間のひとりです。よろしければ今度、一緒にやりませんか。

赤城コマランドが何でもわかるQ&A

- Q 四郎丸の人しか遊べないのですか？
A いつでも誰でも、全ての施設を使って自由に遊べます。
- Q 申込みはどこにするのですか？
A 申込み不要です。心配な方はログハウスの黒板に記入（連絡先もね）して下さい。
- Q 使用料はいくらですか？
A 無料です。消耗品は持参してください。
- Q 誰が管理しているのですか？
A ここで遊ぶ人がします。来た時よりもキレイにして帰りましょう。
- Q コマランドは誰が運営しているのですか？
A 四郎丸コミュニティ推進会議の「教育環境づくりの会」です。
- Q 公的な組織ですか？
A 純然たる市民団体です。コマランドは公共施設ではありません。
- Q 何の為にやっているのですか？
A 子ども達をのびのび育てようと、冒険遊び場を作っています。その過程で、荒廃した里山の再生も進めています。
- Q メンバーはどういう人達ですか？
A 未来の為に一肌ぬごうと、地区内外の老若男女が集まっています。
- Q いつからやっているのですか？
A 2000年1月1日設立です。
- Q 資金はどうしているのですか？
A 公募の助成金に応募して活動資金にあてています。
- Q 名前の由来は？
A 四郎丸の赤城神社と地主の駒村さんをもじって、赤城コマランドと名付けました。
- Q 冒険遊び場でケガをしたら誰が責任を取るのですか？
A 自己責任の遊び場ですから自分の責任です。小さなケガの積み重ねが大きな事故を防ぎます。でも最初から危ないと判っているので、なかなかケガはしません。
- Q コマランドの面積は？
A 6人の地主さんと長岡市から、9.9ヘクタール(約3万坪)の山林と埋立地と休耕田を無償でお借りしています。
- Q トイレや水道や電気はあるのですか？
A 簡易トイレと車椅子用トイレが一基づつ、450Lの給水設備と500Lの給水車が一台、2.4KVAのインバータ発電機が一台あります。
- Q 他の設備は？
A ログハウス・ツリーハウス・石釜・緑陰図書館・各種遊具・調理器具・タープなど。
- Q きまりはあるのですか？
A コマランドには指示も義務も禁止もありません。ロマンと冒険の森づくりをめざして自分自身で目的を良く考え、行動し、最後までその役割と責任を果たしましょう。
- Q コマランドの組織は？
A 親父・世話役・勘定役・事務方・庶務方・顧問の他にマタギ衆が90名、この森で木を植え、遊ぶコマランダーが約二千名位います。事務局は四郎丸小学校にあります。
- Q マタギ衆って何ですか？
A コマランドのスタッフです。そろそろマタギかなと思ったら、自分で任命します。
- Q 普段どんな活動をしているのですか？
A 植樹会以外は適当にやっています。来てくれれば感謝、来なくても誰も文句は言いません。休日には、たいてい誰かが何かを勝手にやっています。
- Q 植樹会はいつ、どんなことをやるのですか？
A 春と秋の年2回、既に五千五百本の苗木を植えました。楽しくやろうとパルクウェイやピザを焼いたり、マタギ鍋を煮たりしています。すべてのイベントが無料です。
- Q 活動に参加するには？
A ここで遊ぶ人は既にコマランダーです。いろんなイベントがありますから掲示物を見て、前からいたような顔をして参加して下さい。すぐ仲間になれますよ。会費なし。
- Q コマランドに連絡したいときは？
A 山川・090-3215-8256 赤城コマランド「こまむら」<http://www.nct9.ne.jp/koma/>

赤城コマランドの軌跡

- 2000. 1. 1 赤城コマランド設立
- 5. 7 現地探索会
- 12. 17 現地測量調査
- 2001. 4. 28 第1回植樹会(73名)
- 6. 8 灌漑池掘削
- 10. 8 不法投棄物撤去作業①
- 11. 23 トレッキングコース開通
- 11. 24 第2回植樹会(110名)
- 2002. 4. 28 第3回植樹会(240名)
- 5. 9 四郎丸小・総合学習開始
- 8. 23 緑の少年団交流会(240名)
- 8. 27 埋立地クローバー緑化
- 10. 5 緑の学校事業助成決定
- 10. 15 ニュー新潟ふるさと事業助成決定
- 10. 27 不法投棄物撤去作業②
- 11. 4 ツリーハウス完成
- 11. 24 第4回植樹会(263名)
- 2003. 3. 30 不法投棄物撤去作業③
- 4. 29 第5回植樹会(県共催 700名)
- 5. 16 緑の募金森づくり事業助成決定
- 6. 6 周辺民有地 4.9畝無償貸与実現
- 6. 9 緑の百年物語支援事業助成決定
- 8. 5 子供の活力を育む集団助成決定
- 8. 6 長岡地域森林炭素吸収源対策会議
- 8. 30 市長と火星探索会(60名宿泊)
- 10. 11 グリーンフェス(県共催 370名)
- 10. 26 全国育樹祭理事長賞受賞
- 11. 1 石釜完成
- 11. 2 車椅子用トイレ完成
- 11. 3 第6回植樹会(350名)
- 11. 8 文部科学省、先進地事例に紹介
- 12. 23 不法投棄物撤去作業④
- 2004. 1. 21 周辺市有地 4.7畝無償貸与実現
- 4. 17 不法投棄物撤去作業⑤
- 4. 26 ニッセイ財団元気っ子活動助成決定
- 4. 29 第7回植樹会(県共催 736名)
- 5. 20 ソロプチミスト長岡みづほ助成決定
- 7. 10 かけはしの森育樹祭(県共催 100名)
- 7. 13 新潟県中越豪雨発生
- 7. 14 県職員互助会特別公益事業助成決定
- 8. 10 夏の縄文体験2泊3日(80名)
- 8. 13 ログハウス建設工事開始
- 10. 7 新潟県ふるさとづくり大賞受賞
- 10. 15 さわやか子ども広場助成決定
- 10. 23 新潟県中越地震発生
- 11. 10 日本ふるさとづくり奨励賞受賞
- 11. 14 車椅子用トイレ災害復旧工事完了
- 11. 21 ログハウス災害復旧工事完了
- 11. 23 不法投棄物撤去作業⑥
- 11. 28 第8回復興祈願植樹会(150名)雨
- 2005. 2. 15 長生ライオンズクラブ復興見舞決定
- 2. 20 冬の縄文体験(80名)
- 3. 15 緑の百年物語セミナーで事例発表
- 3. 23 森林炭素吸収源対策会議で事例発表
- 4. 22 緑化推進コミュニティ助成事業決定
- 4. 23 不法投棄物撤去作業⑦
- 4. 29 第9回復興植樹会(250名)雨
- 5. 3 コマランド直下山林火災・消火活動
- 5. 24 さわやか子ども広場2年目助成決定
- 5. 28 ソロプチミストみづほ植樹会(60名)
- 7. 9 かけはしの森育樹祭(県共催・80名)
- 7. 21 ソロプチミスト2年目助成決定
- 7. 26 夏の縄文宿泊体験(100名)雨で中断
- 8. 26 災害復興緑の支援事業助成決定
- 10. 7 リベンジ夏の縄文体験(100名)
- 10. 30 不法投棄物撤去作業⑧
- 11. 2 トヨペット財団より桜苗木50本寄贈
- 11. 3 第10回植樹会(450名)
- 12. 28 長岡市による道路除雪開始
- 2006. 2. 14 冬の縄文体験(100名)
- 3. 5 国営越後丘陵公園でパネリスト
- 3. 9 長岡地域森林炭素吸収源対策会議
- 3. 11 教育改革リレーフォーラムで発表
- 4. 1 さわやか子ども広場3年目助成決定
- 4. 23 不法投棄物撤去作業⑨
- 5. 4 第11回植樹会(700名)
- 6. 10 ときメッセ・スローライフ展に出展
- 6. 12 ピオトープ全面改修工事
- 7. 1 ソロプチミスト3年目助成決定
- 7. 9 かけはしの森育樹祭(50名)雨
- 7. 20 新潟少年学院野外教育訓練開始
- 7. 27 国土交通省現地視察
- 8. 18 新潟少年学院野外教育訓練②

更新 2008.13
Since 2003.2.3

★ こまむら コマランド 長岡野菜 の紹介のページ ★

こまむらへの案内図

- コマランド
- 長岡野菜
- 販売案内
- 自己紹介
- 掲示板

★農家アルバム★

1月 2月 4月 5月 6月
7月 8月 9月 11月 12月

献上品 トピックス

http://www.nct9.ne.jp/koma/

ホームページ

検索エンジンで「こまむら」を引くとウェブ検索結果の上位に出てきます。そのタイトルをクリックして頂けば、駒村さんのホームページに到着です。トップページの「コマランド」を開けばいろんな話題がたくさん写真と一緒に載ってますよ。「パンフレットPDF」を覗けば過去のパンフを見ることもできます。「掲示板・狸の遠吠え」には最新のニュースが盛りだくさん！ぜひ貴方も、ひとこと書き込んでください。ちなみに回答者のマタギ衆のペンネームは

親 父：駒村精吾 世話役：山川成雄
勘定役：小林 守 庶務方：松井 了
ほか多数です。いっぱいお話をしましょう。
悩み事もOKですよ。

